



学校だより特別号

前期 学校アンケート結果について

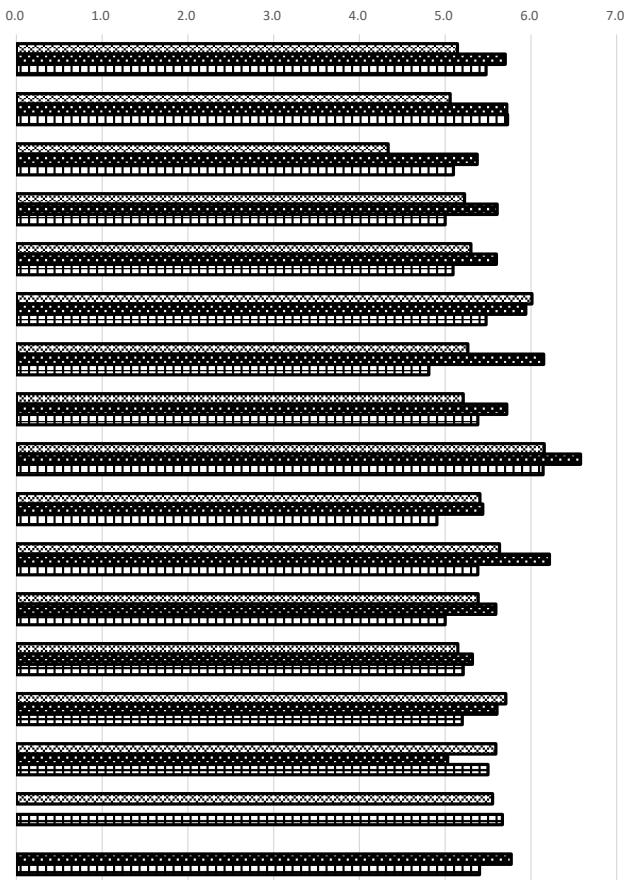
令和6年10月29日
 京都市立明徳小学校
 校長 廣瀬 孝
 TEL:075-701-0111
 FAX:075-701-0112

学校アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートは、「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」「開かれた学校」の4観点から実現度をおたずねしました。

保護者・児童・教職員 回答 比較

			保護者	児童	教職員
1	学	めあてをもってすすんで学習に取り組んでいる。	5.1	5.7	5.5
2	学	すすんで家庭学習に取り組んでいる。	5.1	5.7	5.7
3	学	すすんで読書をしている。	4.3	5.4	5.1
4	学	授業や家庭学習で、基礎学力が身についてきている。	5.2	5.6	5.0
5	学	授業や家庭で対話をする力が身についている。	5.3	5.6	5.1
6	心	毎日楽しく学校に通っている。	6.0	5.9	5.5
7	心	すすんで挨拶をしている。	5.3	6.1	4.8
8	心	いろいろなことにチャレンジしようとしている。	5.2	5.7	5.4
9	心	友だちを大切にしている。	6.2	6.6	6.1
10	心	自分のよいところや得意なことを言える。	5.4	5.4	4.9
11	心	学校や家庭、交通のルールを守っている。	5.6	6.2	5.4
12	体	すききらいせず、バランスよく食事をしている。	5.4	5.6	5.0
13	体	外遊びなど、すすんで運動をしている。	5.1	5.3	5.2
14	体	早ね・早起き・朝ごはんをしっかり食べる等、規則正しい生活をしている。	5.7	5.6	5.2
15	開	子どものことで気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。	5.6	5.0	5.5
16	開	学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかる。	5.6		5.7
17	心	あじなす目標を意識して行動している。		5.8	5.4

保護者・児童・教職員比較



6. 毎日楽しく学校に通っている。

昨年度のアンケート結果と同様、今回のアンケート結果でも「毎日楽しく学校に通っている」「友達を大切にしている」の結果が非常に高いことを大変嬉しく思います。

学校に楽しく通うためには、そこに通う児童が自分も相手も大切にする人でなくてはなりません。また、そんな児童が通う学校であれば、誰もが安心して学び、対話し、人とながることが大切さや喜びを感じることができると思います。

この項目に関して、保護者の方からの自由記述欄には「多くの先生に見守られ、ご指導いただけるのはありがたい」と、「チーム担任制」であることへの肯定的なご意見をいただきました。学年の児童全員と学年担任がお互いによく理解し合えるように、また、より質の高い学習を提供できるようにするためのこの体制が、上記のような安心感に繋がると思っていただけでも、大変嬉しく思います。

しかし、個々の結果を見て気にかかるのは「楽しい」と思えない児童のことです。学校に通うことに前向きになりにくい気持ちにも寄り添い、誰一人取り残さない「明日も来たい学校」になるよう、今後も教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

8. いろいろなことにチャレンジをしている。

10. 自分のよいところや得意なことを言える。

明徳校は、今年度の重点目標として新たに「少しずついい、やってみよう」を加え、授業や行事等でも意識して取り組んできました。「児童には、もっとチャレンジしてほしい」と思ったのは、ここ数年、児童の主体性に課題を感じていたからです。そのような児童が「失敗してもいいからやってみよう」と一歩踏み出せるように、試行錯誤しながら進めてきたことが、「チャレンジしている」と実感することに繋がっているのではないかと考えます。

しかしながら、児童を学年別に見ると、1年生のポイントは高いのに対し、高学年ではそこから0.5ポイント下がるという結果でした。自分自身を客観的に見る力が育てられても、一歩踏み出す力は失われないでほしいです。そのためには、項目10は重要なのではないかと考えます。自分のよさに気づき、得意なことにさらに懸命に取り組めるように、教職員の働きかけを見直していきたいです。そうして児童が自分に自信をもつことができれば、今後も「やってみよう」とチャレンジできると思います。児童の頑張る背中を温かく押しあげられるよう、三者の信頼関係を築いていきたいです。

5. 授業や家庭で対話をする力が身についてきている。

明徳校では「対話力」の育成を目指し、授業をはじめ様々な場面で、対話力を育てる取組を取り入れています。昨年度、本校は「対話力」として特に「聞く力」を中心に力を付けようとして意識してきましたが、今年度はより「表現する力」「引き出す力」を意識して取り組んでいます。一昨年度より伸びの見られた昨年度の結果と比較すると、児童は0.3ポイント、教職員は0.4ポイントさらに上がっており、それぞれの立場で、取組による成果をより実感していることが分かりました。特に、週に一度の帯時間に行っている「対話タイム」においては、保護者の方からの自由記述欄にも、「対話タイムがあることがありがたい」といったご意見をいただきました。

今年度は、各学年の帯時間の取組について、教職員間で見合い、意見を交流する研修を取り入れています。「対話タイム」での実際の姿を見て、目指す姿に近づいているか話し合い、今後の取り組み方を検討しながら進めていますので、これからの変容が楽しみです。「対話による変化を楽しもう」を合言葉に、さらなる努力を重ねてまいります。ご家庭でもぜひお子さんと話して、対話による変化を楽しんでみてください。

17. あじなす目標を意識して行動している。

今年度初めて、アンケートにこの項目を入れました。本校で常に意識している「あいさつをする」「じかんを守る」「ふだを付ける」「すっぱを揃える」の頭文字をとった目標の振り返りです。項目7と併せて、意識の高さが伺えます。しかし、校外における挨拶の姿には、課題が見られることも分かりました。決められているから頑張る目標ではなく、なぜこの目標があるのか、大切にすると自分や周りの人はどう感じるのかと、目標の意味についても理解し、頑張らずとも自然とできるようにしていきたいです。

2. すすんで家庭学習に取り組んでいる。

明徳校では1年生から6年生まで、発達段階に応じて系統立てて毎日の家庭学習を設定しています。今回のアンケートは、保護者は0.3ポイント、児童は0.1ポイント、教職員は0.5ポイントと、いずれも昨年度より上がっている結果となりました。児童は家庭でも真面目に学習していると考えられ、嬉しく思います。

しかし、その中で保護者の回答が低いのは、お子さんの家庭学習の種類や取り組み方から、その質において疑問をもたれることもあるのではないかと考えています。保護者の方からの自由記述欄には「タブレット端末の使い方」に関して、複数のご意見をいただきました。タブレット端末を使った学習は、机にノートを広げてコツコツ丁寧に書いていく学習より中身が伝わりにくいこともあると思います。また、機械ならではの不自由さを感じることや視力低下の心配をされることもあるようです。種類によっては、タブレット端末の活用にとどまらず、学年担任から紙で課題をもらって取り組んでもよいと思います。一方で、さらなる学力向上にむけてタイピングや資料作成、録音や録画、調べ学習等、一人1台のタブレット端末を活用した取組も今後必要であると考えています。お気付きのことがあれば、遠慮なくご相談ください。なお、年度当初に配布しました「明徳小学校GIGAルール」につきましては、「すぐる」で配信しています。ご家庭でのルール決めにご活用ください。

【資料の中の数値について】

よくできている・・・「7」
 だいたいできている・・・「5」
 あまりできていない・・・「3」
 できていない・・・「1」

回答人数をかけた総計を回答者数で割り、平均を出しています。「4」が中間値となり、「5」を超えていると概ねできていると判断してよいと考えています。